

2021年3月のカレンダー（休館日・ゴミ収集日・行事予定）

日	月	火	水	木	金	土
3月	1 休館日	2	3	4	5	6
	その他紙 その他プラ	燃やすゴミ		ビン・埋立・缶 ペットボトル 電球・金物	燃やすゴミ	
7	8 休館日	9	10	11	12	13
中老連 輪投げ大会	その他プラ	燃やすゴミ		公民館 運営審議会	燃やすゴミ	新旧区長会 引継ぎ会(予定)
14	15 休館日	16	17	18	19	20 祝日休館日
	その他紙 その他プラ	燃やすゴミ		埋立・缶 ペットボトル 電球・金物 中名田小 卒業式	燃やすゴミ	
21 休館日	22 休館日	23	24	25	26	27
公民館奉仕活動	その他プラ	燃やすゴミ		中名田保 卒園式	燃やすゴミ	
28	29 休館日	30	31	コロナ禍での窮屈な生活が これほど続くとは考えも しませんでした。 もうそこまで来ている春を 気持ちよく迎えたいですね		
	その他プラ	燃やすゴミ				

中名田診療所3月休診日

毎週木曜・日曜 と 20日(祝・土)

譲ります！（先着順）



エプソンインクカートリッジ
 ・ICBK59(ブラック)
 ・ICY59(イエロー)・ICC59(シアン)
 ・ICM59(マゼンダ)
 適合機種:PX-1001・PX-1004

テーブル
 ・横巾:180cm
 ・奥行:88cm
 ・高さ:70cm
 ・色:ホワイト系
 お問い合わせは公民館(59-0820)まで



●雑感

生命保険会社が毎年募集している「サラリーマン川柳」のネット投票が現在行われています。6万点以上の作品応募があったということで、関心の高さがうかがわれます。今回はコロナ禍でのテレワークや家庭内の様子など、コロナ感染症に関するものが多数を占めています。次世代移動通信システム「5G(ファイブジー)」をもじった作品もあります。しかし、ほとんどが中高年サラリーマンの悲哀を表現したもので、オジサン達のつぶやきを短い言葉でうまく表しています。中には自虐的な作品もあって、「ウン分かる分かる！なるほど」と納得したり「うまいこと表現するなあ〜」と感心したり、思わず吹き出したり・・・。現在、選ばれた100点が公開されています。3月19日まで投票できるので、皆さんいかがでしょうか？ M・O

R3
2月号

中名田公民館だより



“住みやすい・住んでいて良かった・移り住んでみたい 中名田を”

■発行日：令和3年2月25日 ■第386号
 ■編集・発行：中名田公民館
 ■住所：〒917-0355 福井県小浜市下田 52-19
 Tel 59-0820 Fax 59-0903
 ■アドレス：ph-nakanata@city.obama.fukui.jp
 ■人口動向：世帯数 297 戸（年度当初報告数）
 人口 910 名（前月比 -1）男 437 名・女 473 名
 入 3・出 1・亡 3（入=転入・出=転出・生=出生・亡=死亡）
 （※1/31 現在 中名田に住民登録のある方）

く
今
月
号
の
も
く
じ
ゝ

P1. キラリ！中名田人のご紹介
 P2. 保育園：節分行事
 P2. 児童館：パネルに絵を描きました
 P2. 小学校：学習発表会
 P2. 公民館学級：春のアレンジメント
 P2. 2月短歌会詠草・お知らせ
 P3. 「わが町防災コンテスト」受賞作品
 P4. 3月のカレンダー・診療所休診日
 P4. 譲ります！・雑感

キラリ！☆中名田人



以前にも何名かご紹介しましたが、今後、中名田でご活躍されている人などシリーズで掲載していきたいと思っております。



中名田でご活躍されている方をご紹介します

若狭和紙漉き師・大江重雄氏（上和多田在住）御年 95 才。8 年制の小学校卒業以来 81 年間、今も現役で続けておられます。家業を継ぐ形で紙すきの世界に入られましたが（重雄さんの孫じいさんの時代（明治）～）他に農業、炭焼きなどもされていたそうです。昭和初期の最盛期には、中名田では 250 件くらいありましたが、現在では大江さん宅 1 件のみです。

昔から若狭和紙はいろんなところで使用されていましたが、東京・浅草寺の雷門の提灯に起用されたのは平成 4 年 12 月。提灯に適した和紙を探し回っておられた人が大江さんの和紙にたどり着いたことが発端でした。今でも修理用として納めておられ、今年も 500～600 枚を納品予定だそうです。

数ある和紙の中で大江さんの和紙が起用されたのは、寒の水と言われる山からの清らかな水を使っていて、分厚くて丈夫なところが特徴。他との違いは「水」にあるそうです。越前和紙職人の岩野市兵衛氏（後に人間国宝となる）が同業として訪ねてこられた時に、「この水は良い！」と絶賛されたほど。（※歴史や製造工程など詳しいことは、2008 年 3 月（平成 19 年度）に発行された「若狭和紙保存紙」をご覧ください。）

現在の年齢で、まだ職人として続けておられるのは全国的にも本当に珍しいことですが、冷たい水を使った重い物を運ぶなど、全て手作業でされており、ご自分では体力的なこともあり、「もう今年で最後かな」と言われていました。しかしながらお見受けする限りまだまだお元気でしっかりしておられ、中名田としても誇りある伝統産業の和紙漉き職人を、出来る限り続けていただきたい！ とインタビューを通じて強く感じました。

2/2 (火) 保育園・節分行事

保育園で節分の豆まきが行われました。園児らは、大暴れる鬼に向かって一生懸命豆を投げたりバズーカを発射して、鬼退治しました。その後お福さん登場で、お豆や小判をいただく時にはホッとした顔になっていました。



児童館・パネルに絵を描きました

児童館ホール（グラウンド側）に6年生6人が協力して絵を描きました。春夏秋冬を描いたもので、素晴らしいものです。是非児童館でご覧ください。6年生の皆さんありがとう。



6年生の皆さん



春夏秋冬を表した絵

2/14 小学校・学習発表会 (日)



小学校学習発表会が行われました。コロナの影響で長期にわたり休校になった今年度でしたが、しっかりと学習を重ね、ディベートによる発表会を行いました。自分の考えを大きな声で発表して、活発な意見交換になりました。

2/20 (土) 公民館学級



春のアレンジメント

【第三百四十二回 中名田短歌会詠草】
 *節分を過ぎて降る雪音もなく心につもる
 重たく積る 中西さかえ
 *よわい
 *年齢など気にせず着てる薄色のピンクの
 ベスト手編みで温し 芝 幸子
 *妹縫ひし留袖纏ひて逝く母の別れの朝
 に雪降り止まず 芝 美代子
 *久びさの冬晴れなれば園児らは農道
 駆ける賑はひし声 芝 令子
 *立春の雪舞ふ寒さ身に染みて窓ごしに
 咲く一輪のバラ心なごます 池田 豊子
 *大根菜炒めつつ思ふ母の味エプロン姿の
 笑顔の浮かぶ 片岡 玲子

お知らせ

◆スマイルカー運転手募集中！！

スマイルカーの運転ボランティアを募集しています。

1ヶ月の内1、2回。曜日は月～金。15:30～16:30の約1時間。都合の悪い曜日は優先して除きます。急に都合が悪くても対応できます。お問合せは公民館（59-0820）まで連絡下さい。

◆地区体育祭について

R3年度は9月12日（日）予定〔雨天中止〕
 当年度より小学校と別開催で半日予定となります

～「わが町の防災コンテスト」受賞作品をご紹介します～

「わが町の防災コンテスト」でNHK福井放送局長賞を受賞された原稿をご紹介します。中名田地区自主防災会の取組みを是非一読下さいませようお願いします。

■地区防災の取組み

当地区は山間地域であり、特に土砂災害への準備が必要

3

平常時の取組み（地域づくりの協議会が中心に活動）

①防災研修会の開催および情報共有会議の開催



地区自主防災会 情報共有会議 専門家へ向かえての研修会 区単位で防災力強化の意見交換会 トランシーバ実践研修会

②防災備品の購入



③土のピットの設置や雨量計の作製



自作の土のピット 警戒体制時、公民館前で観測実施

④ハザードマップと防災連絡表の作成・全戸配布



⑤要配慮者支援名簿及び避難支援個別計画の策定

自力で避難できない要配慮者の名簿
 名簿の方を誰が、どのように、どこかの避難所に避難させるか決める計画

氏名	住所	要配慮理由	避難場所	避難経路	避難支援者
山田 太郎	〒910-0000 福井県小浜市山田1-1-1	高齢者	公民館	徒歩	山田 花子
田中 花子	〒910-0000 福井県小浜市田中2-2-2	障害者	公民館	徒歩	田中 健一
佐藤 一郎	〒910-0000 福井県小浜市佐藤3-3-3	高齢者	公民館	徒歩	佐藤 美子
鈴木 美子	〒910-0000 福井県小浜市鈴木4-4-4	高齢者	公民館	徒歩	鈴木 健一
高橋 健一	〒910-0000 福井県小浜市高橋5-5-5	高齢者	公民館	徒歩	高橋 美子
中名田 幸子	〒910-0000 福井県小浜市中名田6-6-6	高齢者	公民館	徒歩	中名田 健一

中名田地区自主防災会

■地区防災の取組み

警戒体制時の取組み（地区自主防災会が主軸） 活動事例：2017年10月台風21号、警戒体制

4

本部役員・総務班・・・区長会長、協議会 正副代表、防災安全部会

住民対応班・・・区長、代理区長、組長、防犯班



公民館に本部設置 自主防災会 協議



地図で被害の位置を確認

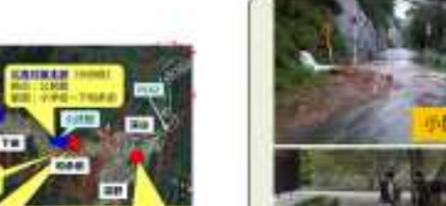
当時の主な行動実績
 ・自主防災本部の設置、関係団体への集合要請
 ・インターネット等による気象情報の収集、関係者への状況報告
 ・防犯班への土のう作成要請（消防団に協力）
 ・消防団の各部に食料配給

当時の主な行動実績
 ・民家2軒が山からの排水で浸水危機→消防団に現場確認要請
 ・土砂災害警戒レベル5対応→ハザードマップレッドゾーン世帯に
 安否確認と垂直避難の誘導

防災活動班・・・消防団（第8分団）



消防団の統制のとれた活動＝被害の最小化を実現



一夜明けた地区の様子
 土砂の流出、看板の損壊もある
 人的・家屋損壊などの被害なし

■今後の取組み

区単位の自主防災活動を支援、防災力強化を推進
 研修、訓練などを通じた地区民の防災意識向上、地域コミュニティの維持・発展
 「安心して暮らせる長寿の地区」を目指して活動を継続・推進します!!

中名田地区自主防災会